

5
発言No. _____

受付No. 4 _____

令和6年6月5日

8時57分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、地域井戸端会から感じた問題点について

今回の地域井戸端会では4地域に伺い、様々なご意見ご要望を伺った。その中で出されたもの、感じた問題点など、何点か取り上げて質問する。

(1) 高齢化している農家の支援について

- ①高齢化している農家が多く、何とか農機具などの機械を購入することで農地を懸命に維持している。条件不利地を一生懸命管理しているが、認定農業者や新規就農者ばかりでなく、地元地域で頑張っている農家にも農機具などの機械代を補助できないか伺う。

(2) 地区サポーターによる事務処理支援について

- ①今回まちづくりセンターに地区サポーターが配置されたが、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金などの事務処理が高齢化でできなくなった。面倒な事務手続きが、第三者にお願いできれば、辞退する団体も減ることは少ないと思う。地区サポーターなどの支援で辞退することがなるべく無いようにしてもらいたい。が所見を伺う。

(3) 公共交通事業への加算について

- ①旭町の都川地区、市木地区、また金城町の波佐地区など、買い物や病院など生活圏が遠くに位置している地域では、まちづくり推進委員会が実施するあいのりタクシー制度や敬老福祉乗車券制度など、他の地域と同じ条件ではなく、生活圏が遠くにある地域はさらに加算が必要と思うが所見を伺う。

(4) 草刈り報償費について

- ①草刈り報償費については、自治会単位で支払われており、高齢化率 70%を超える自治会には加算される制度となっている。しかし、都川地区の 4 自治会のうち 1 つの自治会は少人数で小学生が 2 人いるため 70%に達しない。この自治会だけ加算がされていないが対応について所見を伺う。
- ②この報償費を見込んで、自治会が作業を行うのではなく、業者などに作業委託することはできないか所見を伺う。

(5) 携帯電話の不感地域対策への支援について

- ①今回、携帯電話の不感地域で固定電話が故障し、1 週間電話ができなかったとの声を伺った。携帯会社のアンテナ整備は難しいと考えるが、光ファイバー網が入れば関連の携帯会社の電波を入れることが可能なのか伺う。

2、地域支え合い生活支援事業について

今年度から高齢者の生活支援の目的で、地区まちづくり推進委員会が、草刈りを始めとする地域住民の困り事を受けて、地域のボランティア団体につなげる地域での共助の仕組みづくりを目指して地域支え合い生活支援事業が推進されている。地区まちづくり推進委員会が地域の住民の困り事を把握していく中で、これに対応するボランティア団体が組織化されるというところを期待している観点から質問する。

- ①事業の推進状況について伺う。
- ②元々は高齢者の草刈り支援の制度としての機能を期待したが、まちづくり推進委員会を通す今の仕組みではいつまでも制度が利用できない地域が多いと感じるが所見を伺う。

3、ひきこもり対策について

昨年 12 月定例会議で、ひきこもり対策について、秋田県藤里町の取組を視察した経緯から質問する。

- ①今年度、予算も少し増え、当市での対策にかかる進捗状況について伺う。
- ②この対策については、相談対応など待ちの対応支援がどうしても中心になっているが、訪問などの出向いていく積極的な支援が進められているのか伺う。